

学校推薦型選抜（公募制）

詳細は必ず『入学試験要項』でご確認ください。

出願資格

次の各項全てに該当する者。

- 高等学校もしくは中等教育学校を2023年3月に卒業した者および2024年3月に卒業見込みの者。
- 本学の教育課程を修めるに十分であると学校長が認め推薦した者。

入試日程

学部・学科	試験日・試験時間		出願期間	合格発表
全学部・全学科	11月21日(火)	午前 午後	WEB出願 11月1日(水)～11月7日(火)	12月4日(月)
	11月22日(水)	午前 午後		
	11月23日(木・祝)	午前 午後		

Point

- 試験日・時間は自由選択制です。
- 最大6回の受験チャンスがあります。異なる学科を受験することも、同じ学科を複数回受験することも可能です。※1回(午前または午後)の試験で出願できるのは1学科のみです。

試験会場

試験日・試験時間		京都(本学)	東京	金沢	名古屋	名張	米原	福知山	大阪	神戸	和歌山	岡山
11月21日(火)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月22日(水)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月23日(木・祝)	午前	●	—	—	—	—	●	—	●	—	—	—
	午後	●	—	—	—	—	●	—	●	—	—	—

※11月23日は京都(本学)、米原、大阪のみです。

Point
●全国11都市に設置します。都合に合わせて試験日・試験時間・会場を選択することができます。

試験科目・配点・解答時間

学部	学科	試験科目/配点	解答時間
仏教学部	仏教学科	<div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; text-align: center;"> <p>基礎能力試験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;">「英語」 100点</div> <div style="font-size: 2em;">+</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;">「選択」 国語、数学から1科目 100点</div> </div> <p>= 200点満点</p> </div>	80分
文学部	日本文学科 中国学科 英米学科		
歴史学部	歴史学科 歴史文化学科		
教育学部	教育学科 幼児教育学科 臨床心理学科		
社会学部	現代社会学科 公共政策学科		
社会福祉学部	社会福祉学科		
保健医療技術学部	理学療法学科 作業療法学科 看護学科		

Point

- 全学部・全学科とも全問マークセンス方式。基礎能力試験(2科目)。「英語」と「選択(国語、数学から1科目)」の2科目を80分間で解答します。
- 「選択」は試験当日に「国語」と「数学」それぞれの問題を確認してから、受験科目を決めることもできます。
- 学部・学科が異なる場合でも、試験時間ごとの試験問題は同一内容です。
- 解答時間内に2科目を同時に行います。解答しやすい科目や問題から取りかかると、時間配分を考えて受験してください。

◆[英語]は[コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅰ(リスニングは実施しません)] ◆[国語]は[国語総合(古文、漢文除く)]

◆[数学]は[数学Ⅰ・数学A]

合格者判定方法

- 全員が「基礎評価方式」で受験。希望者は「総合評価方式」も追加できます。※「総合評価方式」のみでの受験はできません。
- 「総合評価方式」は、各学科とも出願時における「基礎評価方式」の志願者数と「総合評価方式」を追加した志願者数の比率に、得点状況を考慮し合格者数を配分します。
- ※試験日・試験時間(午前・午後)ごとの定員は設けていません。
- ※「基礎評価方式」、「総合評価方式」ともに1回に受験する2科目の合計得点(「総合評価方式」はプラス評定点)で判定します。試験日・試験時間(午前・午後)をまたいだ高得点科目での判定ではありません。

「基礎評価方式」は2科目200点満点で判定します

[2科目の合計得点で判定]

- 「英語」「選択」2科目の合計200点満点で判定します。



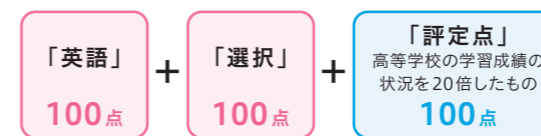
〈例〉

試験日・時間	英語	選択	合計
11月21日(火)午前	70点	国語 70点	140点

「総合評価方式」の判定方法がプラスできます

[高等学校の成績を活かせる判定]

- 「基礎評価方式」にプラスして利用できる判定方法です。2科目合計200点+評定点100点の計300点満点で判定します。



〈例〉

全体の評定平均値	英語	選択	評定点	合計
3.0の場合	70点	国語 70点	60点	200点
4.0の場合			80点	220点
5.0の場合			100点	240点

- Point**
- 高等学校での成績を活かせる「総合評価方式」を追加すればさらに合格のチャンスが高まります。
 - 1回の受験につき「基礎評価方式」、「総合評価方式」、それぞれで判定を受けることができます。

併願について

- 複数学科の併願、他大学との併願も自由です。
- 試験日・試験時間(午前・午後)をかえて同一学科、異なる学科の併願もできます。

- Point**
- 2つの判定方法を併用すれば最大12回の判定を受けることができます。

入学試験検定料 ▶ 検定料減額

- 1回目(午前または午後)の受験は35,000円。2回目からは10,000円を加算します。
- 同じ試験時間で判定方法を併用する場合には5,000円を加算します。

第2回合格発表について

- 入学手続締切後、手続きの状況により追加で合格発表をする場合があります。
- 詳細は必ず『入学試験要項』でご確認ください。

GHEGKI!

複数回受験のメリット

「学校推薦型選抜(公募制)」では、同じ学科を複数回受験することも、異なる複数の学科を併願することも可能です。複数の受験チャンスを得られることで、1回だけの受験に比べて気持ちの余裕が生まれ、試験の緊張感に慣れることで、**受験者の方が本来の実力を発揮しやすく**受験環境が整うというメリットがあります。また、学科ごとに競争率や合格最低点が異なることから、難易度の異なる他学科への併願をうまく組み合わせることで**合格の可能性をさらに高める**ことができます。

一般選抜対策がそのまま使えます

「学校推薦型選抜(公募制)」は基礎能力試験。また、試験科目や出題傾向は「一般選抜」とほぼ同じなので、「一般選抜」の対策を行っていれば特別な対策は不要です。大学が発行する『入試問題集』(無料・大学Webサイトから請求いただけます)などを活用して十分な対策を行うことで、合格への可能性を高めることができます。